



東一だより



一人一人が輝き、笑顔と希望のあふれる学校
～3合い「認め合い・助け合い・高め合い」をとおして～

令和8年9月24日発行

心をついに、運動会へ



校長 前田 由美子

さわやかな秋風が感じられる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力くださり誠にありがとうございます。さて、本校は、来週から、運動会に向けた練習が始まります。私にとって、校長として迎える初めての運動会です。子供たちがどんな表情で練習に取り組み、どんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみにしています。

運動会では、徒競走や表現運動、団体競技など、さまざまな活動に取り組みます。初めは「できるかな」「うまくできないな」と感じることもあるかもしれません。それでも、練習を重ねる中で、少しずつできることが増えて、友達と声を掛け合ったり、励まし合ったりする場面が生まれてくることでしょう。

本校の学校教育目標は、「かんがえる子・こころゆたかな子・たくましい子」です。この3つの姿を運動会の取組に当てはめると「**かんがえる子**」は、「どうしたらもっと上手にできるだろう」「みんなで力を合わせるにはどうしたらよいだろう」と、自分たちで考え、工夫する子です。「**こころゆたかな子**」は、友達の頑張りを認め、応援したり、困っている友達に声を掛けたりする子です。自分のことだけでなく、友達の気持ちにも目を向けられる心を大切にしていきます。そして、「**たくましい子**」は、思うようにいかないときにも、すぐにあきらめず、もう一度挑戦してみようとする子です。できなかったことができるようになる喜びや、最後までやり切った達成感を、ぜひ味わってほしいと思います。

運動会というと、どうしても結果に目が向きがちです。しかし、子供たちにとって本当に大切なのは、そこに至るまでの一日一日の頑張りと私は思います。うまくいなくて悔しい思いをすることもあるでしょう。友達と気持ちが合わないこともあるかもしれません。それでも、話し合ったり、励まし合ったり、何度も練習したりする中で、子供たちは少しずつ成長していきます。

運動会当日には、ぜひ子供たちの今までの頑張りにとも思いを寄せながら、温かい拍手を送っていただければと思います。一生懸命走る姿、友達を応援する姿、最後まであきらめずに頑張る姿。その一つ一つが、子供たちの大切な成長の証です。私は、子供たち一人一人の頑張りと小さな変化を大切に見つめていきたいと思っています。運動会を終えたとき、子供たちが「頑張った」「みんなと一緒にできて楽しかった」「自分も少し成長したな」と、笑顔で振り返ることができたら、そんなにうれしいことはありません。

ご家庭では、十分な睡眠や朝食、体調管理など、子供たちが元気に練習に参加できるようご協力をお願いいたします。そして、お子さんに、ぜひ「楽しみにしているよ」「頑張っているね」と温かい声を掛けていただければと思います。

一人一人の頑張りが重なり、仲間との繋がりが深まる中で、今年の運動会が子供たちの心に残る一日となることを願っています。

引き続きご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。